



ハチクサンFL 高濃度少量散布における気中濃度測定

目的

ハチクサンFLの高濃度少量散布における気中濃度測定と安全性

試験

供試薬剤

ハチクサンFL

対象物件

既存戸建て、床下コンクリート打設

供試剤の指定濃度（200倍）の3倍高濃度（66倍）で、指定散布量3L/m²の3分の1（1L/m²）で処理をし、所定の位置で気中濃度を測定する。

結果

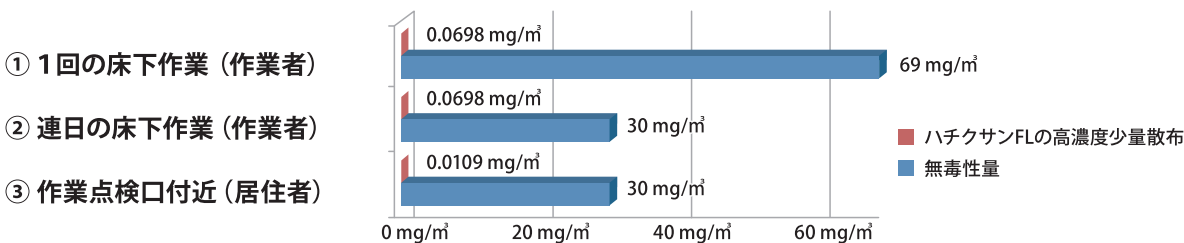
	散布前	散布中	0.5時間	3時間	1日	3日	7日
温度	---	室内: 19.7~19.9 61~64%	室内: 19.1~19.9 61~62%	室内: 20.0 60%	室内: 16.4 59%	室内: 18.1℃ 75%	室内: 18.6℃ 54%
	---	室外: 13.8~13.9 78~79%	室外: 12.6~12.8 83~84%	室外: 11.5 80~85%	室外: 8.8 78%	室外: 17.3℃ 63%	室外: 10.7℃ 51%
サンプル箇所	分析値	分析値	分析値	分析値	分析値	分析値	分析値
1.居間	検出せず	0.0031	0.0007	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
2.侵入口1.2m	検出せず	0.0109	0.0006	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
3.侵入口0m	検出せず	0.0698	0.0005	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
4.換気口	検出せず	0.0025	0.0001	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず

< 単位 mg/m³ 検出限界 0.0001 mg/m³ >

高濃度少量散布においても散布中～1時間内を除き、それ以降は、イミダクロプリドは検出されなかった。

- 注) ・試験は同条件の建物間取りではないため他の試験とは単純比較はできない。
 ・使用者はラベルの注意事項をよく読み、防護具等の装着をきちんと行うこと。
 ・お客様には事前の説明や散布中の避難・注意事項等を怠らないこと。

考察



測定結果のうち最高検出濃度（侵入口0m）及び侵入口1.2mの検出濃度を、吸入毒性試験における無毒性量と比較しても、十分に低い濃度であった。

- 注) ・ラベルの注意事項を守り、居住者近隣等に配慮して施工をしてください。
 ・侵入口周辺等室内の養生を丁寧に。
 ・作業者のマスクや手袋などによる防護を確実にしてください。
 ・気中濃度は、建物の構造や風向き、施工方法により変化します。

